

平成30年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区 名 浪速区
学校名 大阪市立塩草立葉小学校
学校長名 竹内 幸延

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成30年4月17日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただきため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）

- ・主として「知識」に関する問題（A問題）
 - ・主として「活用」に関する問題（B問題）
- ※ 理科については、主として「知識」に関する問題と、主として「活用」に関する問題を一体的に出題

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・本校では、第6学年 45名

平成30年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

算数A（主として知識に関する区分）と算数B（主として活用に関する区分）の平均正答率は、ともに大阪市と大阪府、全国をすべて上回った。これは、5年前の統合以来、初めてのことである。全国の平均正答率と比べると、算数Aは4.5ポイント、算数Bは2.5ポイント上回っている。一方、国語Aは全国平均を5.7ポイント下回り、国語Bは全国を9.7ポイント下回っている。理科は、大阪市平均と同じで、全国平均を5.3ポイント下回っている。

解答をまったく書けない「無解答率」の平均割合は、すべての問題で、大阪市と大阪府、全国の平均を下回っており、ねばり強く取り組む様子がうかがえる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語]

A問題の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」領域の正答率は、大阪市を1.1ポイント上回っている。「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域は、A・B問題とともに、全国を10ポイント以上、下回っている。今後も、低学年からの積み上げが必要である。

[算数]

A・B問題とともに、「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の全領域で、正答率が全国平均を上回っている。特に、A問題（全14問）では、正答数が13または14問の割合が27%にのぼり、「量と測定」領域は、全国を6ポイント以上、上回っている。

[理科]

「物質」領域では、大阪市を5ポイント上回っており、全国ともほぼ同じである。「エネルギー」領域は、全国を8ポイント以上、「生命」領域は、全国を10ポイント以上、下回っている。自然とふれあう経験が十分でなく、理科学習への関心を高める工夫が必要である。

質問紙調査より

[児童質問紙調査]

「自分には、よいところがあると思う」「先生は、よいところを認めてくれている」「将来の夢や目標を持っている」「学校のきまりを守っている」などは、いずれも肯定的な回答が多い。「朝食を毎日食べているか」の問いには、「食べていない、あまり食べていない」の回答が13%で、大阪市および全国平均よりも、高い。今後も、家庭、地域と連携して健やかな心と体を育てていきたい。

[学校質問紙調査]

学力向上のため、計画的に校内研修を行うとともに、全学級で研究授業に取り組んでいる。今後も、子どもたちの学習意欲の向上および学習規律の定着を図っていく。

今後の取組(アクションプラン)

国語では、文章を正確に読み取ったり、論理的な構成を考えて書いたりする力が十分ではない。低学年のうちから、視写や音読、作文、スピーチなどを行い、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の力をつけていきたい。

算数では、習熟度別少人数指導などのきめ細かい学びの成果があらわれてきている。今後も、授業におけるタブレット端末や書画カメラ、電子黒板などICT機器の活用を進める。また、家庭と連携して、家庭学習の習慣形成にも取り組んでいく。

理科では、観察・実験などの学習活動を充実させるとともに、自然にふれる直接体験の場を工夫していく。

【 全体の概要 】

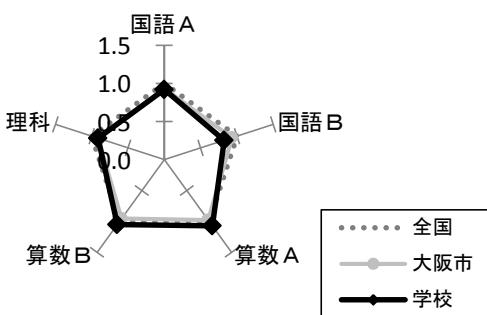
平均正答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
学校	65	45	68	54	55
大阪市	66	51	62	49	55
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3

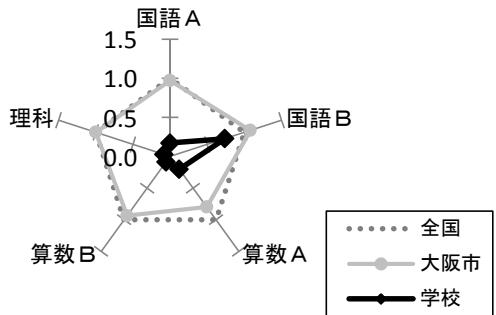
平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
学校	0.6	2.8	0.5	0.7	0.1
大阪市	3.4	4.1	2.0	7.4	1.2
全国	3.5	3.8	2.5	7.9	1.2

平均正答率(対全国比)



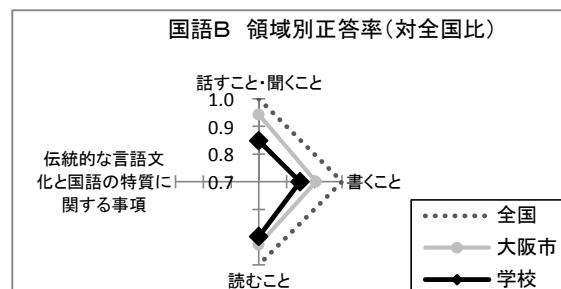
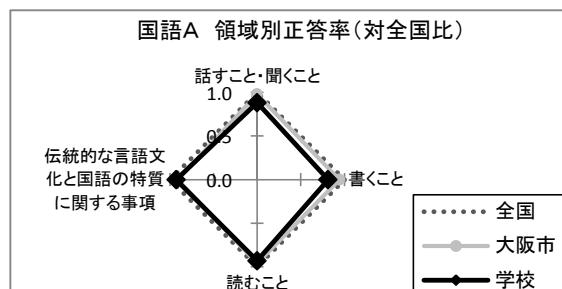
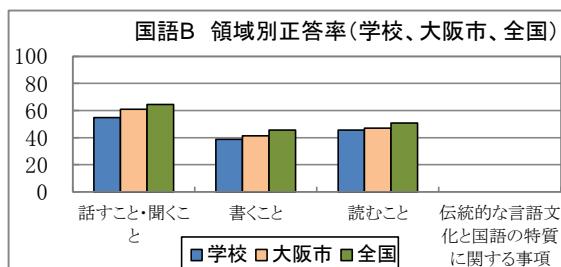
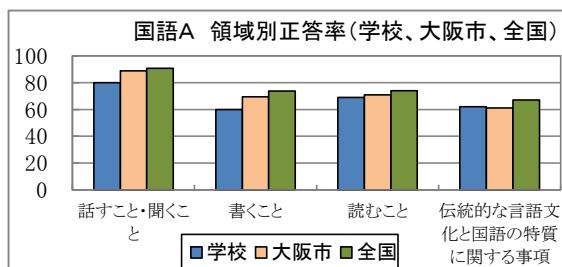
平均無解答率(対全国比)



【 国 語 】

A 問 題	対象設問数(問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	80.0	88.9	90.8
	書くこと	1	60.0	69.6	73.8
	読むこと	2	68.9	71.0	74.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	8	62.2	61.1	67.0

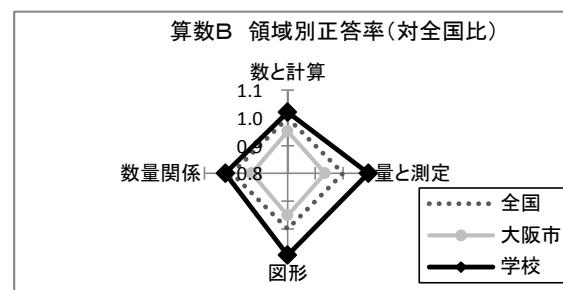
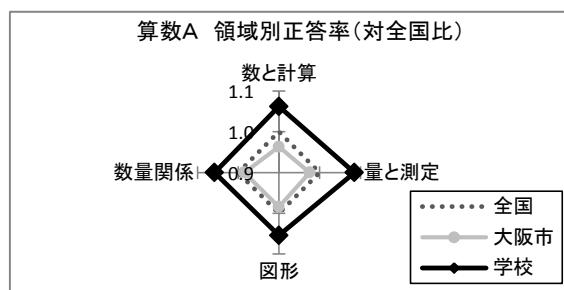
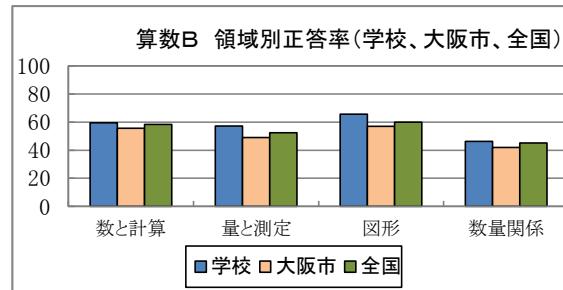
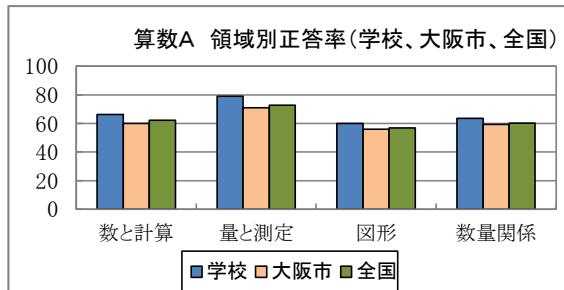
B 問 題	対象設問数(問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	54.8	60.9	64.6
	書くこと	5	38.7	41.3	45.6
	読むこと	2	45.6	47.1	50.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0	—	—	—



【 算 数 】

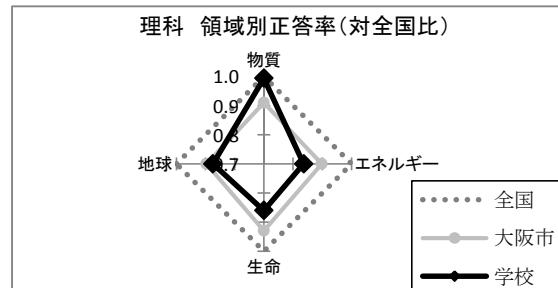
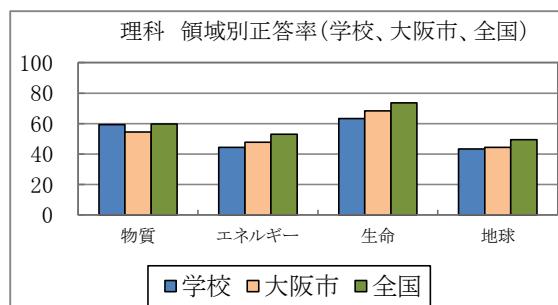
A 問 題		対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と計算	5	66.2	60.0	62.3
	量と測定	4	78.9	70.9	72.7
	図形	3	60.0	56.0	56.9
	数量関係	5	63.6	59.2	60.1

B 問 題		対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と計算	6	59.6	55.6	58.4
	量と測定	4	57.2	49.0	52.4
	図形	2	65.6	57.0	59.9
	数量関係	5	46.2	41.9	45.1



【 理 科 】

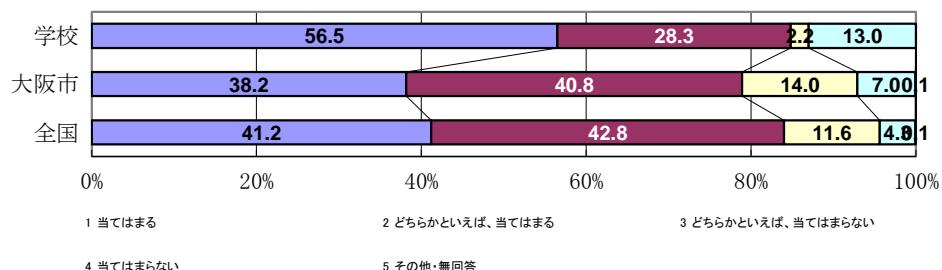
学習指導要領の領域等		対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
A区分	物質	4	59.4	54.4	59.8
	エネルギー	4	44.4	47.7	53.1
B区分	生命	4	63.3	68.4	73.6
	地球	6	43.3	44.4	49.5



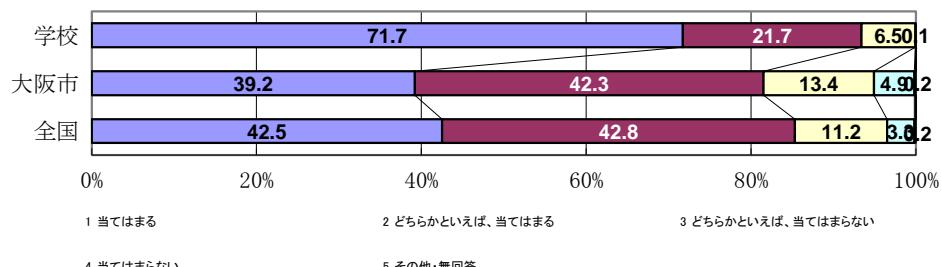
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

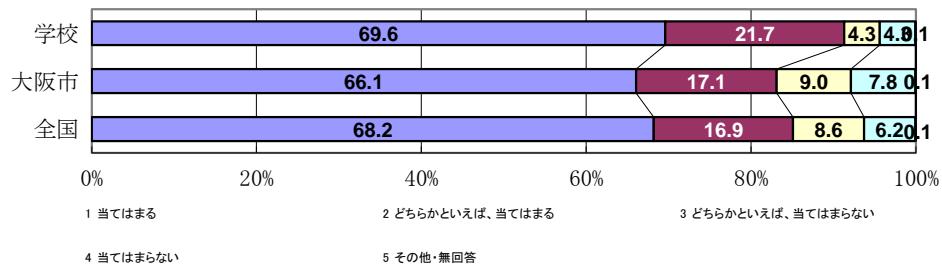
質問番号
質問事項
1
自分には、よいところがあると思いますか



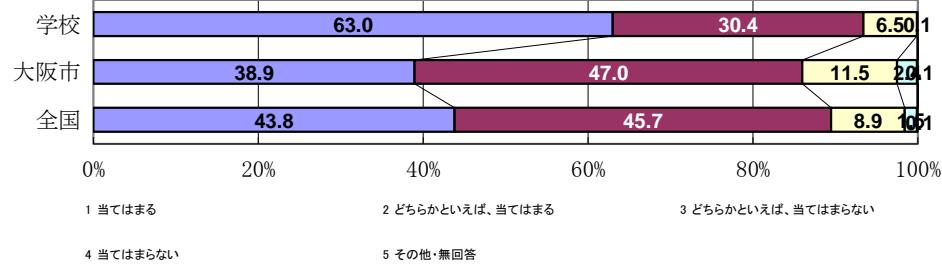
2
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



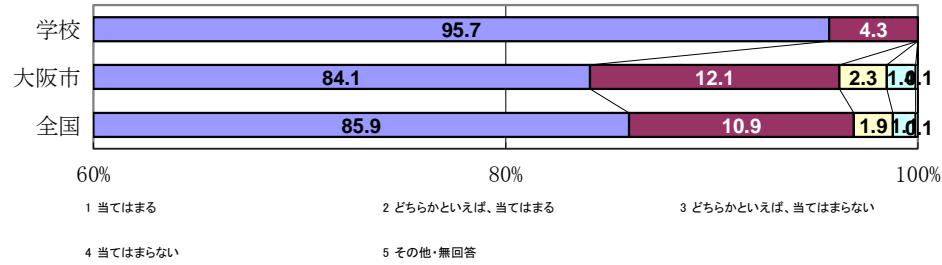
3
将来の夢や目標を持っていますか



4
学校のきまりを守っていますか



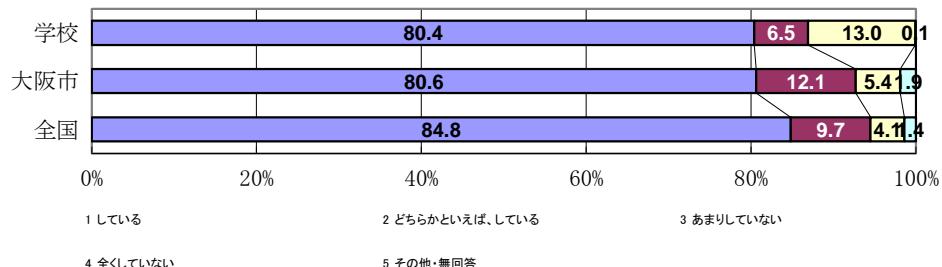
5
いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



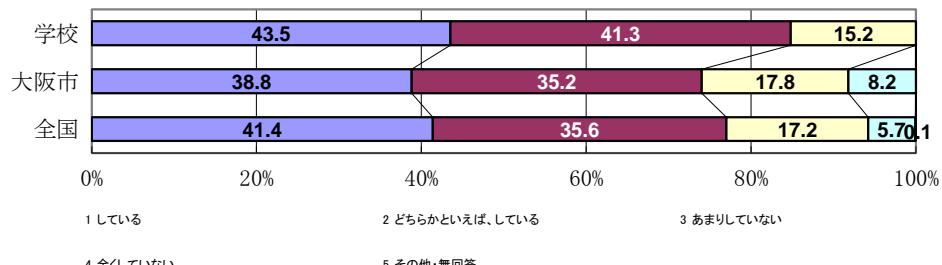
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

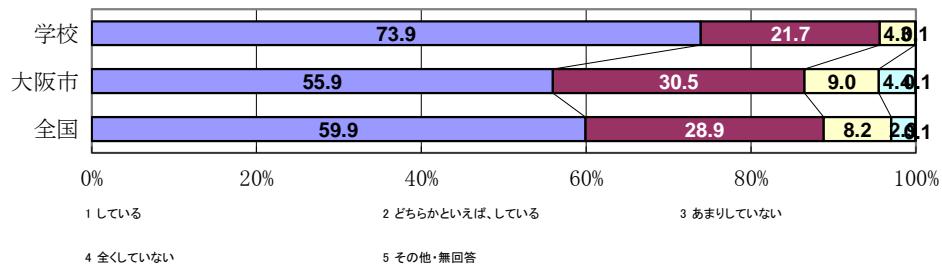
質問番号
質問事項
7
朝食を毎日食べていますか



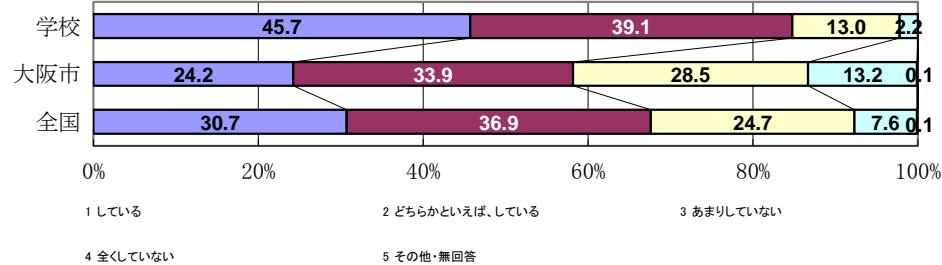
8
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



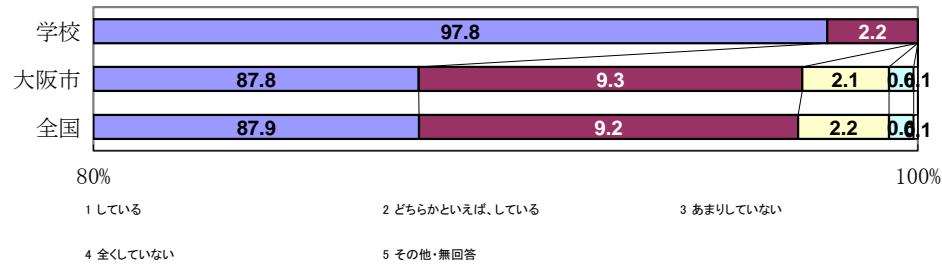
9
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



10
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



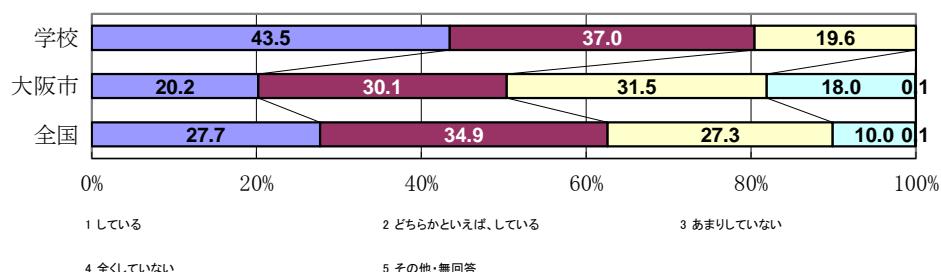
11
家で、学校の宿題をしていますか



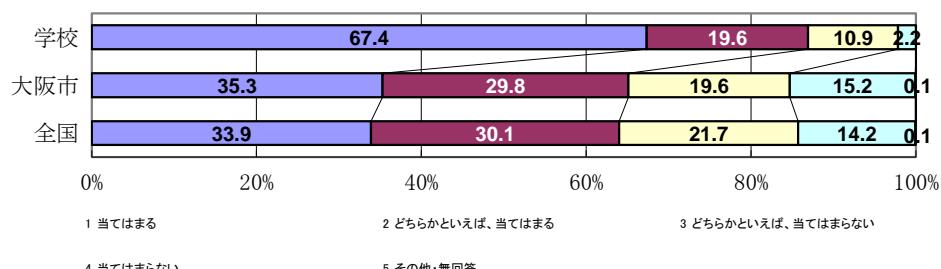
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

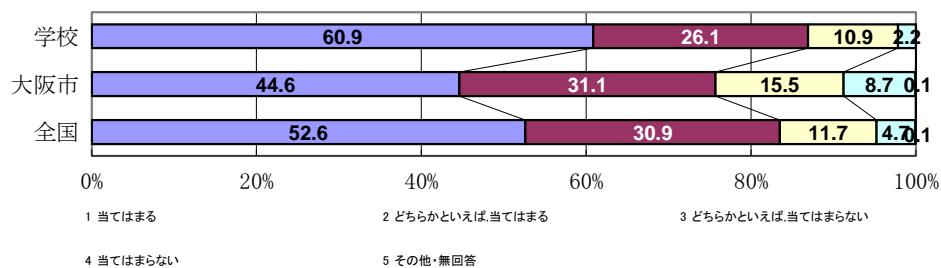
質問番号
質問事項
12
家で、学校の授業の予習・復習をしていますか



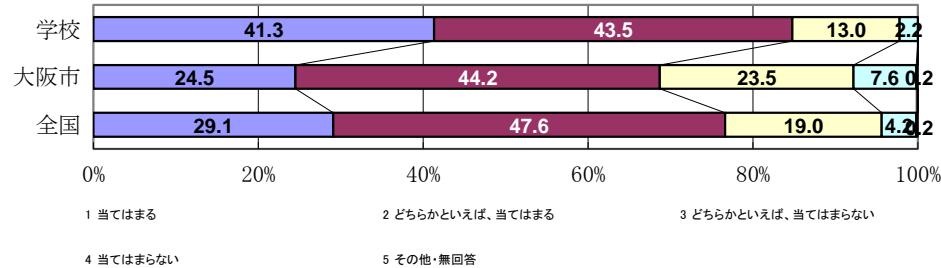
27
算数の勉強は好きですか



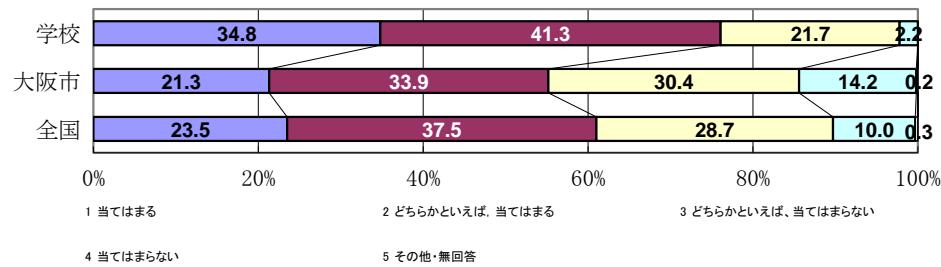
38
理科の勉強は好きですか



55
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか



56
5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか



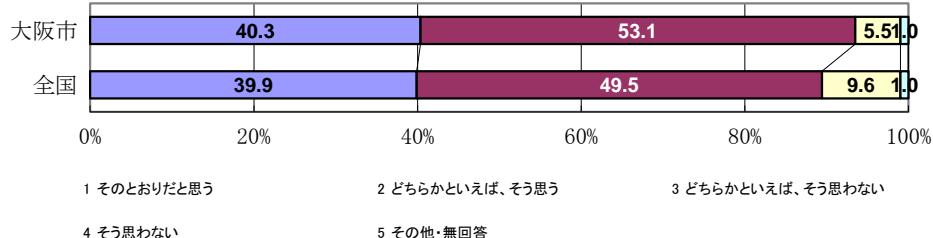
学校質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項
12

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

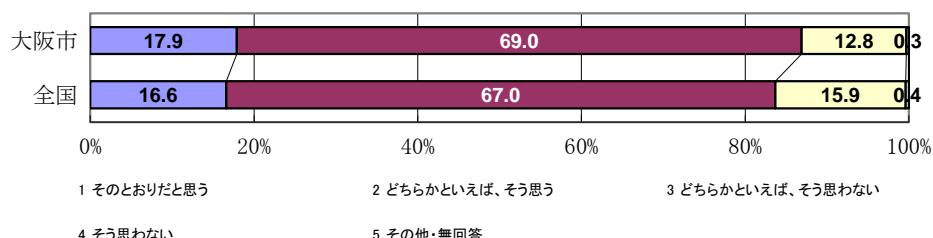
学校 「そのとおりだと思う」を選択



質問番号
質問事項
13

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

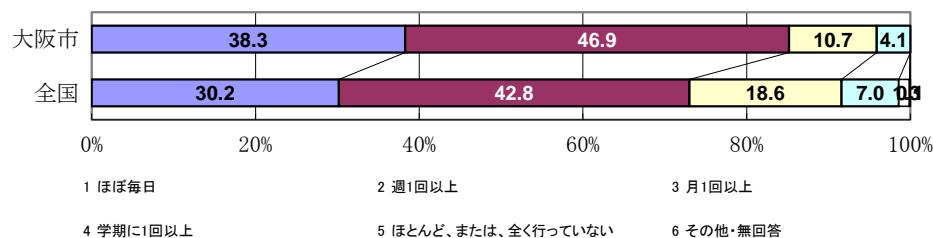
学校 「そのとおりだと思う」を選択



質問番号
質問事項
28

調査対象学年の児童に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板等)等のICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

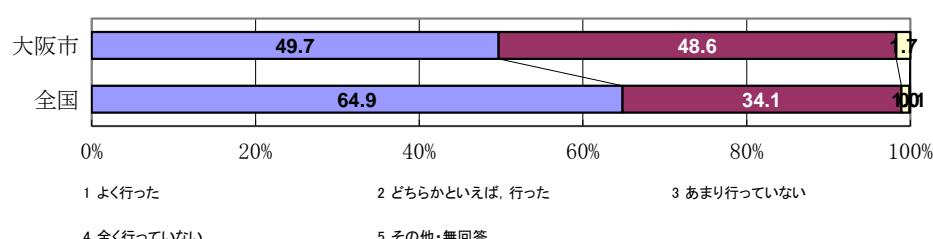
学校 「ほぼ毎日」を選択



質問番号
質問事項
30

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか

学校 「よく行った」を選択



質問番号
質問事項
73

学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか

学校 「よくしている」を選択

